



簡単?面倒?

- パソコンを使って指導した1年生の算数 -



1. はじめに

1年生は、入学当初から、勉強をやる気満々で入学してくる。そのため、発表などもどんどんやりたがる。しかし、まだまだ、幼稚園を卒園したばかりのため、

- ・読めない
- ・書けない
- ・言われたことを理解できない

という子が多く、一斉指導する際に、全員の学習活動をそろえたり、理解させたりすることが、なかなかうまくいかない。

そこで、できるだけ子どもたちの視覚に訴えようと考え、学習を進めた。

2. 実践のあゆみ

(1) 教科書の拡大印刷

教科書をスキャナで読み込むかデジカメで撮影して、拡大印刷を行った。

よさ

- ・デジカメと大判プリンターがあれば手軽に拡大できる。
- ・黒板に提示することによって、子どもが前を見ながら学習できる。
- ・学習が終了後、すぐに掲示できる。

面倒

- ・スキャナを使う場合、機器の操作に慣れる必要がある。
- ・大判プリンターがない場合、分割で印刷したあと貼り付けなければならない。
- ・インク代、紙代と、コストが高い
- ・いらなくなればゴミになる。

(2) プロジェクターの活用

教科書をスキャナかデジカメで取り込み、プロジェクターで映す。ほとんどの場合PCを通してプロジェクターで映すようにしたが、デジカメを直接プロジェクターにつないで映したりもした。



よさ

- ・デジカメを直接プロジェクターにつなぐと、とても手軽に教科書を拡大できる。
- ・コスト的にも安い。
- ・1度取り込んでしまえば、何度でも使い回しがきく。

面倒

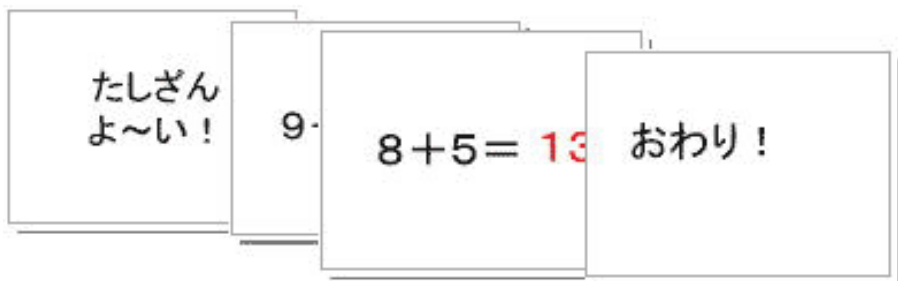
- ・パソコンにプロジェクターをつなぐ場合、機器の準備に手間がかかる。
- ・プロジェクターの性能によっては、カーテンを引かないとよく見えない。
- ・画像に書き込む場合、パソコンを使うか、書き込みができるスクリーンやホワイトボードが必要。

(3) パワーポイントの活用

教科書をスキャナかデジカメで読み込み、それらをパワーポイントで貼り付け、自作のデジタルコンテンツを作成する。アニメーションなども使い、ブロックなどの動きを見せられるようにする。

<ブロックの動かし方>

<フラッシュカード>



よさ

- ・シートの切り替えが容易にできる。
- ・アニメーションが使えるので、動きのある絵を提示できる。
- ・子どもの方を見ながら操作できるので、子どもの様子を確認しながら学習を進めることができる。
- ・1度作成すると、使い回しができる。
- ・作ったコンテンツを元に、容易に変更できる。

面倒

- ・パワーポイントの操作を覚える必要がある。
- ・はじめは、作るのに時間がかかる。
- ・機器の準備が必要になる。
- ・PCを使って書き込んだりしない限り、書き込んだ物が残らない。

3. 実践より学んだこと

プロジェクターやデジタルコンテンツを利用したからといって、必ず簡単でわかりやすい授業を行えるのではない。簡単に見えても準備や作成などで手間や時間がかかることもある。また、必ずしも効果的というわけではない。使い方によっては、全然効果が出ないときもある。そのため以下のことに気をつけて

使うようにしている。

- (1) 活用するポイントを絞る。
- (2) 活用した場合の効果を意識してデジタルコンテンツを選ぶ。
- (3) 機材の準備の手間をできるだけ省けるように、教室環境を整える。
- (4) デジタルコンテンツに頼りすぎない。
- (5) デジタルコンテンツの活用は、教材研究の一環である。

4 . 最後に

デジタルコンテンツを使った授業の準備をするのは、活用のポイントを考えたり、コンテンツを選んだり面倒である。しかし、そういった面倒なことがあるからこそ、子どもの理解を助け、授業が簡単に進むのではないだろうか。